



園 だ よ り

令和8年6月号 認定こども園 長者幼稚園

Tel 45-1941 fax 45-1943

ホームページ<http://choja-youchien.com/>



2026/5/29発行

《特別寄稿》



こどもの頃から 「自信につながるスキル」を



私は日本で20年以上暮らしながら、これまでこどもから大人まで幅広い年代に英語を教えてきました。その経験を通して感じているのは、こどものうちに「自信につながるスキル」を身につけることの大切さです。

外国語、スポーツ、楽器など、分野は何でも構いません。大切なのは、継続して取り組み、練習を重ね、成長していく過程にあります。ここでいう「スキル」とは、生まれ持った才能ではなく、努力や学習を積み重ねることによって身につくものです。時間をかけて習得した経験は、こども達に大きな自信を与えてくれます。

こどもが小さいうちに始めることを勧める理由の一つは、幼い頃のほうが新しいことを自然に吸収しやすいからです。小さなこども達は失敗を恐れず、興味を持ったことに素直に挑戦します。私を知っているこども達も、会うと自然に「Hello!」と声をかけてくれますが、そこには、「間違えたら恥ずかしい」という気持ちはありません。

一方で、成長するにつれて「失敗してはいけない」というプレッシャーを、こども自身や周囲の大人が強く感じてしまうことがあります。しかし、本来学びとは、失敗を重ねながら成長していくものではないでしょうか。

英語を学ぶ意味

将来、日本国内だけで生活し働くのであれば、英語を使う機会は限られているかもしれませんが、しかし、より広い世界に触れ、多様な価値観や経験を得てほしいと願うのであれば、英語は大きな可能性を広げてくれる力になります。英語は世界共通語であり、インターネット上の情報の多くも英語で発信されています。日本語だけでは得られる情報が限られてしまう場面も少なくありません。

もちろん、何かを始めるのに「遅すぎる」ということはありません。それでも、言語は幼い頃から触れることで、より自然に身につけやすいと感じています。



続けることで育つ力

私のこども達は、幼い頃からバレエを習っています。バレエは海外では広く親しまれている習い事の一つで、私のイギリス人の友人たちもこどもにバレエを習わせています。また、80歳になる私の母も、こどもの頃にバレエを習っていました。八戸へ引っ越してきた際、長者幼稚園にバレエ教室があることを知り、とても驚き、同時に嬉しく思いました。こども達も入園後すぐにレッスンを始めました。

もちろん、小さいうちは「疲れる」「行きたくない」と言うこともありました。それでも励ましながら続けたことで、今では踊ることが大好きになり、クラシック音楽にも興味を持つようになりました。また、基礎的なレッスンを続けることで体幹も鍛えられ、将来ほかのスポーツや新しい挑戦に取り組む際の、大きな自信にもつながっていると感じます。

こども達の成長を支えるために

私はこれまで福岡を中心に、さまざまな保育園・幼稚園で英語教育に携わってきました。その経験から見ても、長者幼稚園はこども達の好奇心や挑戦する気持ちを大切にしている素晴らしい園だと感じています。

こども達が新しいことに興味を持ち、挑戦し、そして継続していけるよう支えていくことは、将来の大きな自信につながります。好奇心にあふれる今だからこそ、さまざまな経験を通して、こども達の可能性を広げていきたいものです。

父母の会会長 Lawson Stephen